

地域の自然を守る

絶滅危惧種

トウテイランの挿し木

生産科学系列等の2，3年生17名が、環境省自然公園指導員である後藤久和さんの指導のもと、トウテイランの挿し木を行いました。トウテイランは環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、京都府の丹後半島から島根県の隠岐の島にかけての沿岸に局地的に自生しているが、このままでは絶滅してしまう可能性があります。綺麗な花色が中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的なことからその名がつけられ、京都の自然200選にも選定されています。夏から秋にかけて藍色の花を咲かせ、その花は地域によって系統が違うようにみられます。

京丹後市の豊かな自然環境を活かしたまちづくりを進めるため、京丹後市の花であるトウテイランを選定し、久美浜一区で市民とともに花いっぱい運動を推進し、観光復興や地域の活性化に繋げていく予定です。全部で900鉢2，700本のうち、久美浜高校では300鉢900本の挿し木をおこない、秋まで管理をし、その後は一区の区民のみなさんの手で苗を大きく育て、花いっぱいのまちづくりにつなげる予定です。

この様子は6月10日付けの京都新聞、毎日新聞に掲載されました。

